

不登校についての体験談（本人 5）

不登校の時期：中学1年の3学期から中学校卒業まで 不登校の期間： 約2年

| |
|---|
| 不登校になったきっかけを教えてください。 |
| 自分でも何故か分からなかったが、学校に行きたくないと思い出した。朝になると気持ちが悪いなどと言って登校を拒否した。 |
| 学校に行かないときは、どのように過ごしていましたか。 |
| 一日をずっとベッドで過ごし、完全に昼夜逆転していた。中学2年生の10月頃からフリースクールに通っていた。 |
| その時の気持ちや考えていたことを教えてください。 |
| 学校の人にはとにかく会いたくなかった。何もする気が起きなかった。 |
| 保護者や先生にしてほしかったこと、してもらってうれしかったこと、いやだったことを教えてください。 |
| 中学2年生の頃の担任が、家に来るたび「いつから来られるようになるのか」「テストは来週だぞ」などと言ってくるのがとても苦痛だった。 家に引きこもっていた期間、兄弟が何も言ってこないでくれたのが有り難かった。 |
| 友人や大人（保護者・先生以外）にしてほしかったこと、してもらってうれしかったこと、いやだったことを教えてください。 |
| 友達が連絡をくれるのは嬉しかったが、学校に行っていない自分が何を言っているのか分からず、返信するのがつらかった。 |
| 学校に行かなかったことについて、今感じていることや考えていることを教えてください。 |
| 今振り返ってみて、どうしたってあの頃は学校に通うことが出来なかったのも、自分にとって必要な時間であったと思う。家に引きこもっていた頃の自分が、「20歳になっても生きていて、大学に通っている」と知ったら驚くだろうと思う。 |